

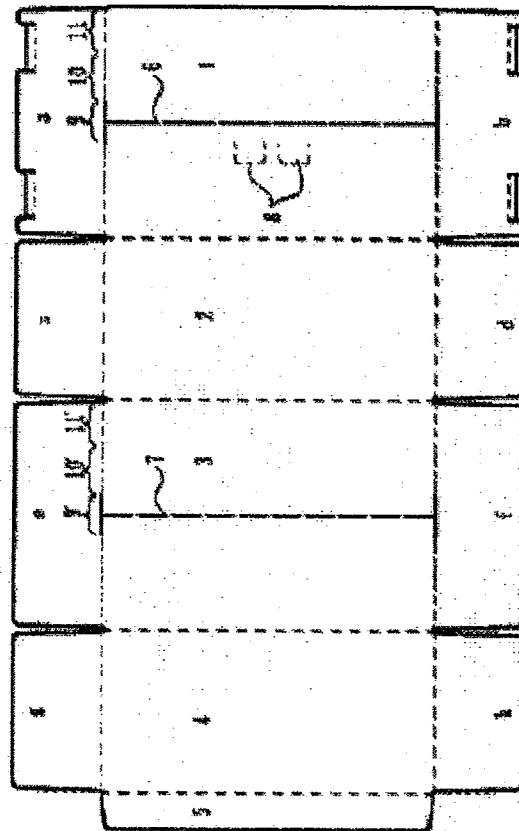
**WRAP-AROUND TYPE CORRUGATED CARDBOARD BOX**

Publication number: JP2002154531  
Publication date: 2002-05-28  
Inventor: SAKURAI KENJI; FUKAZAWA TAMOTSU; ASAI  
MASAHARU  
Applicant: MIKASA SEIYAKU CO LTD  
Classification:  
- international: **B65D5/54; B65D5/54; (IPC1-7): B65D5/54**  
- European:  
Application number: JP20000351757 20001117  
Priority number(s): JP20000351757 20001117

Report a data error here

**Abstract of JP2002154531**

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide a corrugated cardboard box having superior disposability and openability. **SOLUTION:** Roughly in the center of the top face and bottom face of this wrap-around type cardboard box, notches for easy cutting are formed.



(19) 日本国特許庁 (JP)

## (12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号  
特開2002-154531  
(P2002-154531A)

(43) 公開日 平成14年5月28日 (2002.5.28)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	FI	テーマコード(参考)
B 6 5 D 5/54	3 0 1	B 6 5 D 5/54	3 0 1 C 3 E 0 6 0
	BRH		BRHC
	BSD		BSDC

審査請求 未請求 請求項の数5 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願2000-351757(P2000-351757)

(22) 出願日 平成12年11月17日 (2000. 11. 17)

(71) 出願人 390039468

三笠製菓株式会社

東京都練馬区豊玉北2-3-1

(72) 発明者 櫻井 兼次

静岡県小笠郡浜岡町下朝比奈2255-1

(72) 発明者 深澤 保

埼玉県新座市畑中1-13-33-305

(72) 発明者 浅井 正治

埼玉県川越市南大塚238-4

(74) 代理人 100071755

弁理士 斉藤 武彦 (外1名)

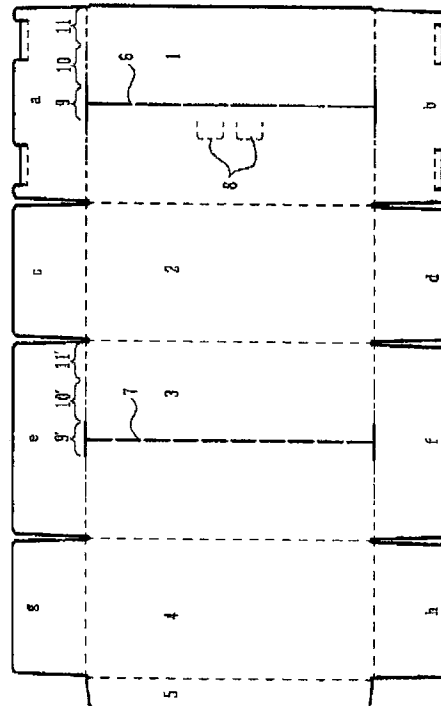
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 ラップアラウンド式ダンボール箱

(57) 【要約】

【課題】 廃棄性、開封性に優れたダンボール箱を提供する。

【解決手段】 天面及び底面のほぼ中央部に切断誘導切り込み線を設ける。



## 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 天面及び底面に切断誘導切り込み線を有してなる廃棄性の改善されたラップア라운드式ダンボール箱。

【請求項 2】 切断誘導切り込み線が両サイドフラップの折り曲げ部に互り天面及び底面のほぼ中央部に設けられている請求項 1 記載のラップア라운드式ダンボール箱。

【請求項 3】 天面の中心部近傍に手穴を有する請求項 1 又は 2 記載のラップア라운드式ダンボール箱。

【請求項 4】 天面と対向する両サイドフラップ間及び／又は底面と対向する両サイドフラップ間の折り曲げ部に内側半切り線を設けると共にそのほぼ中央部に切り込み線を設けてなる請求項 1～3 のいずれか 1 項記載のラップア라운드式ダンボール箱。

【請求項 5】 天面及び底面の切断誘導切り込み線上に該線を覆うように配した紙テープを有する請求項 1～4 のいずれか 1 項記載のラップア라운드式ダンボール箱。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明はダンボール箱に関し、特に潰しやすくりサイクル性、廃棄性に優れたまた開封性にも優れたラップア라운드式ダンボール箱に関する。

## 【0002】

【従来の技術】ダンボール箱には、主として A 式ダンボール箱とラップア라운드式ダンボール箱がある。A 式ダンボール箱は最も代表的なダンボールであり、一片のダンボールからできており、ダンボールメーカーの生産性も最も容易であるため経済的であり、箱としての構造面からも強度に優れているため多用されているが、機械的に集積された内容物を包装するには不向きであり効率が悪い。ラップア라운드式ダンボール箱は、打ち抜かれた板状のダンボールの上に、機械的に集積された内容物を乗せ、それを包み込んで、ホットメルト接着剤などでのり貼りしたダンボールであり、機械的に集積された内容物を包装するのに適しているが、潰し難く、廃棄性が悪いという問題がある。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】ラップア라운드式ダンボール箱は、缶ビールの包装を始め、食品、医薬品等に多く利用され、生産性の向上に繋がっている。しかし、ダンボールの組み立てが接着剤で強固に固定されているため、開封性に難があると共に、潰し難く、リサイクル性、廃棄性に問題がある。本発明の目的はラップア라운드式ダンボール箱の有する利点を損なうことなく、上記問題点を解決することにある。

## 【0004】

【課題を解決するための手段】本発明は第 1 に、天面及

び底面に切断誘導切り込み線を有してなる廃棄性の改善されたラップア라운드式ダンボール箱である。本発明は第 2 に、切断誘導切り込み線が両サイドフラップの折り曲げ部に互り天面及び底面のほぼ中央部に設けられている上記のラップア라운드式ダンボール箱である。本発明は第 3 に、天面の中心部近傍に手穴を有する上記のラップア라운드式ダンボール箱である。本発明は第 4 に、天面と対向する両サイドフラップ間及び／又は底面と対向する両サイドフラップ間の折り曲げ部に内側半切り線を設けると共にそのほぼ中央部に切り込み線を設けてなる上記のラップア라운드式ダンボール箱である。本発明は第 5 に、天面及び底面の切断誘導切り込み線の上に該線を覆うように配した紙テープを有する上記のラップア라운드式ダンボール箱である。

【0005】以下、図面に基づいて本発明を説明する。図 1 は本発明のラップア라운드式ダンボール箱の一例を示す展開図である。ラップア라운드式ダンボール箱は、天面 1、その上下に位置するサイドフラップ a、b、側面 2、その上下に位置するサイドフラップ c、d、底面 3、その上下に位置するサイドフラップ e、f、側面 4、その上下に位置するサイドフラップ g、h、及び接着しろ 5 が連結した構造となっている。ここで接着しろ 5 は天面側に位置していてもよい。本発明では天面 1 及び底面 3 に切断誘導切り込み線 6、7 を設けることを第一の特徴としている。これら切断誘導線 6、7 は天面 1 及び底面 3 のほぼ中央部に、両サイドフラップ a、b、e、f の折り曲げ部に互って設けることが好ましい。切断誘導切り込み線 6 は手でも簡単に押し開きできるよう開封を容易にする機能を有し、上下の両サイドフラップの折り曲げ部に互り数カ所（たとえば 2～10 カ所）の連結部を残して切り込みが入れられていることが好ましい。切断誘導切り込み線 7 は使用後潰しやすく廃棄用に集積しやすい形にする機能を有するものであり、使用時の抜け防止を考慮し、切断誘導切り込み線 6 よりも連結部の数が多いか又は合計面積が大きくともよい。これらの切り込みは通常所定の機能を発現するようにミシン目として付与される。

【0006】天面 1 の中心部近傍に手穴 8 を設けることが好ましい。図では一方の側に 2 個の手穴が設けられているが、これは 1 個でもよくまた他方の側にも相似した対応する数の手穴を設けてもよい。この手穴は内容物を入れたダンボール箱の開封時の作業を容易にする。また、天面及び底面と接するサイドフラップ a、b、e、f の折り曲げ部にはそのほぼ中央部即ち切断誘導切り込み線 6、7 と接する位置に切り込み線 9、9' を設けその延長線の上に内側半切り線 10、10' 及びミシン目 11、11' を設けることが好ましい。切り込み線 9、9' は切断誘導切り込み線 6、7 上に付与するテープの幅より若干長いことがカッター刃の挿入上好ましい。また手穴 8 は切り込み線によって付与されることが好まし

く、天面の切断誘導切り込み線6の方向に折り込むことによって指が掛かりやすく開封しやすくなる。尚ダンボール箱の使用時に切断誘導切り込み線上に粘着テープを付着させるがこのテープとしては環境上紙テープの使用が好ましい。

【0007】本発明のダンボール箱は組立て内容物を入れ使用に供して後の開封以後の操作性に優れることに特徴を有するので、次に開封方法の一例を図をもって説明する。図2は本発明のラップアラウンド式ダンボール箱の開封作業とそれ以後の説明図である。Aで天面1のテープを剥がし(a)、Bで天面1の切断誘導切り込み線に沿ってカットし、手穴8に指を入れて天面の一方を引き上げ(b)、次いで反対側を引き上げ(c)、Cで底面3のテープを剥がし(d)、底面の切断誘導切り込み線7に沿ってカットし、天面と同様に引き上げてDに示す状態にしこれを横にスライドさせて潰す。

【0008】本発明のラップアラウンド式ダンボール箱は上記のような作業で簡単に潰れ、Eに示すように周囲

の凸凹もない長方形の同一形状となる。そのため極めて集積しやすく廃棄しやすいという利点を有する。

#### 【図面の簡単な説明】

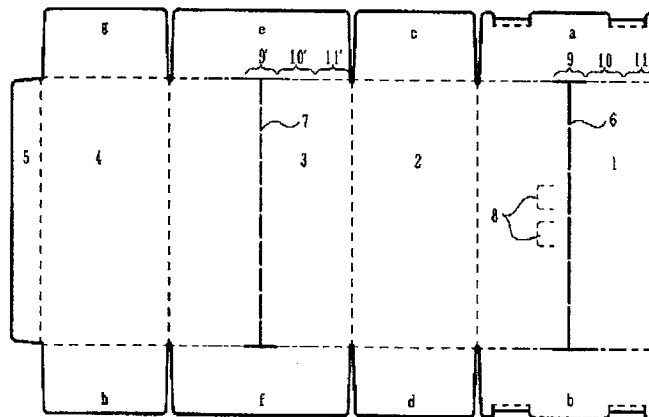
【図1】本発明のラップアラウンド式ダンボール箱の一例を示す展開図。

【図2】本発明のラップアラウンド式ダンボール箱の開封作業とそれ以後の説明図。

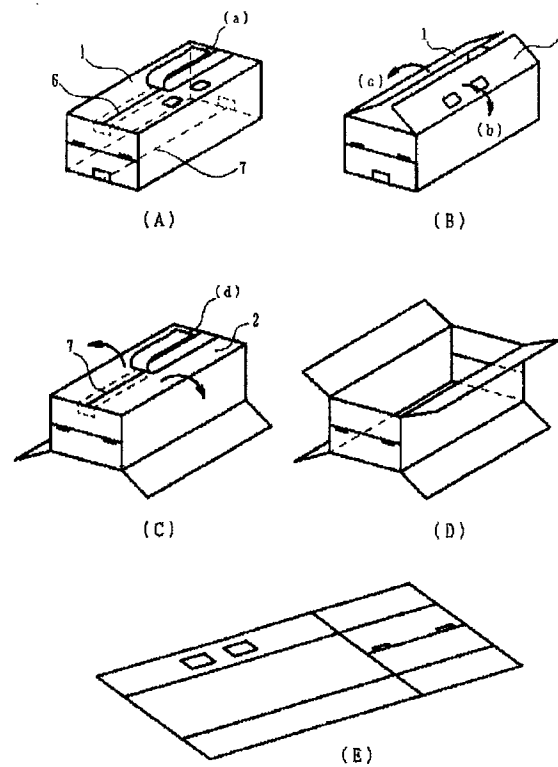
#### 【符号の説明】

- |        |           |
|--------|-----------|
| 1      | 天面        |
| 2、4    | 側面        |
| 3      | 底面        |
| 5      | 接着しろ      |
| 6、7    | 切断誘導切り込み線 |
| 8      | 手穴        |
| 9、9'   | 切り込み線     |
| 10、10' | 内側半切り線    |
| 11、11' | ミシン目      |

【図1】



【図2】



フロントページの続き

Fターム(参考) 3E060 AA03 AB05 BC02 BC04 CA01  
 CA13 CA23 CE07 CE14 CE16  
 CE22 CF05 CG03 DA14 DA30  
 EA13 EA14 EA20